

核物理研究センター協議会議事録(案)

日 時：平成8年10月21日(月) 10:30~13:00

場 所：核物理研究センター会議室

出席者：江尻(核物)、櫛田(阪大理)、三間(阪大レーザー)、山田(核研)、
上坪(理研)、伊達(原研)、政池(京大)、八木(筑波大)

欠席者：園田(阪大工)、菅原(高エネ研)、長岡(基研)、平尾(放医研)

オブザーバー：土岐、藤原、畑中、能町(核物グループ代表)、木村(核物事務代表)

報 告

1. センターの現状について

センター長と各グループ代表(核理 I, II, 加情 I, II)より研究状況について説明がなされた。

議 題

1. センターの研究活動について

1. 現在の研究活動について意見交換がなされた。
2. レーザー電子光クォーク核物理(SPring-8 でのマルチ GeV 光)の研究推進法等について前向きな活発な意見が交された。

2. 国際協力研究について

1. センター長より現在の国際協同研究の状況と、INMEN(International Network for Medium Energy Nuclear Physics)の現状と構想について説明があり、意見交換を行った。
2. 国際協同・共同研究等の重要性について意見が述べられた。

3. センターの将来計画について

1. 現在進行中のリングサイクロトロンを中心とした核子・中間子系核物理と、関連するレプトン核物理(大塔コスモ観測所・地下観測)およびクォーク核物理(レーザー電子光・SPring-8)、マルチ GeV 加速器開発等の計画について説明され、意見交換を行った。
2. 中型の将来計画として、マルチ GeV のプローブによるクォーク核物理の主旨に

ついて、その重要性と推進法等について積極的意見の交換が行なわれた。
物理の内容と方法について、その学術的意義と筑波地区での大型計画との相補性が
強調された。広く関連分野・機関との協力の必要性と、加速器開発のあり方等
について意見が述べられた。

4. その他

大阪大学付置のセンターとして、理学研究科との協力等について意見が述べられた。

- 資料
1. 核物理研究センター協議会内規及び同委員一覧
 2. 一般研究概要
 3. 各グループの研究活動概要
 4. 国際核物理ネットワーク
 5. 将来計画
 6. RCNP 要覧
 7. RCNP Annual Report
 8. RCNP Review
 9. レーザー電子光クォーク核分光プロジェクト